

# 今後の子育て応援熱く議論



2019年の合計特殊出生率が2.95となり、子育て応援のまちとして、全国から注目を集めている岡山県奈義町で11月10日、「全国子育て応援会議～子ども・笑顔・未来～」

が開かれた。奈義町が子ども家庭庁や岡山県、子育て支援に力を注ぐ自治体、企業、支援団体へ参加を呼びかけ、これからの子育て応援について議論を交わした。

「全国子育て応援会議～子ども・笑顔・未来～」の開催を前に、奈義町では、子どもたちが次代を担うかけがえのない存在で、奈義町を守り支えて来て



## 楽しさ味わえる子育てに

奈義町長 奥 正親

「全国子育て応援会議」に、子ども家庭庁、岡山県、岡山県子ども家庭庁、岡山県子育て支援に力を注ぐ自治体、企業、支援団体へ参加を呼びかけ、これからの子育て応援について議論を交わした。



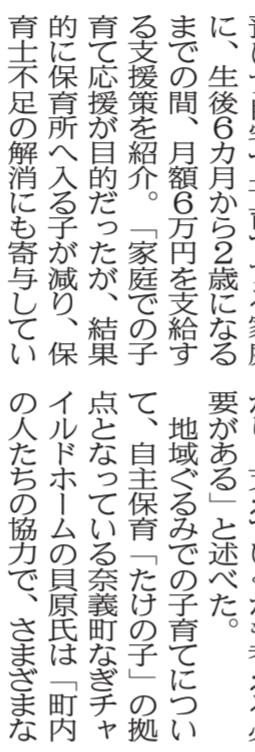
このようなお声も踏まえ、妊娠から子どもが自立するまでの間、ライフステージに応じた支援を強化しようと、6月に「子ども未来戦略方針」が閣議決定されました。「加速化プラン」として、今後3年間で重点的な取り組みを進めます。

「子ども未来戦略方針」が閣議決定されました。「加速化プラン」として、今後3年間で重点的な取り組みを進めます。

## 未来の親も支援必要

香川県で子育て支援に取り組む中橋氏がモデレーターを務める「金銭的な不安、社会・職場の理解・支援の不足から母親の多くが子育てに対する不安を抱え、将来子どもを欲しいと思わない若者も増えている」と問題提起。自治体や子育て支援団体の関係者が事例発表をしながら議論を深めた。安心して子育てができる社会の実現に必要なこととして、現役の子育て世代に加え、今後親となっていく世代への支援を求める声も出た。

「子ども未来戦略方針」が閣議決定されました。「加速化プラン」として、今後3年間で重点的な取り組みを進めます。



「子ども未来戦略方針」が閣議決定されました。「加速化プラン」として、今後3年間で重点的な取り組みを進めます。

## プッシュ型支援に転換を

企業からの参加者を中心となり、子育てしやすい職場環境などを巡って意見交換。子育て中の親に、ホテルや有名レストランでのランチを託児付きで提供するサービスを展開する「こころ」(東京都)の山下氏がモデレーターを務めた。山下氏は「必要なサービスを親が探して利用する「プル型」の支援では急激な人口減少に対応できない」とし、自治体や企業が積極的に利用を促す「プッシュ型支援」の重要性を指摘した。

「子ども未来戦略方針」が閣議決定されました。「加速化プラン」として、今後3年間で重点的な取り組みを進めます。

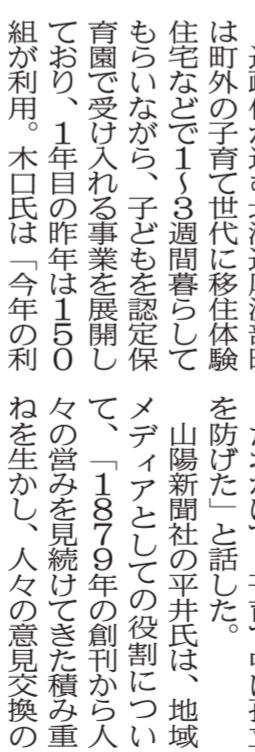


「子ども未来戦略方針」が閣議決定されました。「加速化プラン」として、今後3年間で重点的な取り組みを進めます。

## 一人一人の行動が重要

子どもを取り巻く問題について長年取材するジャーナリスト岸田氏がモデレーターを務め、岸田氏がモデレーターを務めてきた。子どもを一人の人間として尊重する意識が浸透し、「子どももまんなか」という言葉も使われない時代がきてほしい」と訴えた。

「子ども未来戦略方針」が閣議決定されました。「加速化プラン」として、今後3年間で重点的な取り組みを進めます。

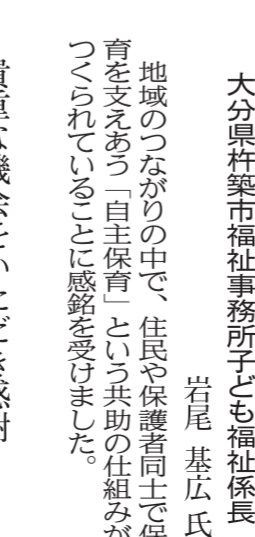


「子ども未来戦略方針」が閣議決定されました。「加速化プラン」として、今後3年間で重点的な取り組みを進めます。

## 奈義町へひとこと

参加が当たり前となり、イクメンという言葉が使われなくなってきた。子どもを一人の人間として尊重する意識が浸透し、「子どももまんなか」という言葉も使われない時代がきてほしい」と訴えた。

「子ども未来戦略方針」が閣議決定されました。「加速化プラン」として、今後3年間で重点的な取り組みを進めます。



「子ども未来戦略方針」が閣議決定されました。「加速化プラン」として、今後3年間で重点的な取り組みを進めます。

## 奈義町へひとこと

参加が当たり前となり、イクメンという言葉が使われなくなってきた。子どもを一人の人間として尊重する意識が浸透し、「子どももまんなか」という言葉も使われない時代がきてほしい」と訴えた。